

静岡産業大学総合研究所は、2012年の創設以来、静岡県のビジネス社会をはじめいろいろな社会の発展に寄与することを願い、大学に蓄積してきた情報、知見、アイデア、研究成果、教育力を提供する地域連携活動を行ってきました。

また、皆様方の日々の活動のお役に立つ、身近な情報を広く提供すべく、随時ニュースレターを発行しております

日中関係の再考を

いま日中関係は転換期に差し掛かろうとしている。戦後の日本は日米同盟を軸に対中国政策を展開してきたが、21世紀に入ってから日米同盟の本来仮想敵国であるはずの中国と深い経済関係になりつつある。この転換期における舵取りが、世界や東アジアの平和、日本の国益に大きくかわかることは言うまでもない。

戦後の日本の最大貿易パートナーはしばらくアメリカであったが、1980年代以降中国との経済関係がますます緊密となり、その中でも対中貿易が急速に伸び、2004年には日中貿易総額がはじめて日米貿易総額を超え、日本にとって中国が最大の貿易パートナーになった。それ以降もリーマン・ショックによる波があったものの、日中貿易はおおむね右肩上がりが増えて、2018年には39.2兆円に達し、日米貿易の24.5兆円を大きく上回った。

2020年に入り、新型コロナウイルス感染拡大によって中国製の部品供給が断ち切れ、それによって静岡県を含む日本の一部の製造企業の操業がやむなく中断されたことから分かるように、今や日本と中国との経済関係は緊密さが増している。

しかしながら、戦後の日中関係の歴史を見ると、日本の対中国政策は日米同盟を軸に大きく揺らいできたのも事実である。政策大学院大学学長であり安倍政権の諮問委員も長く務めた田中明彦によると、1952年日本が中国大陸か台湾かという外交関係締結の選択に直面した際、日本の国益を考えた当時の首相吉田茂はこの選択をできるだけ引き延ばそうとした。アメリカは台湾を強く推すが、中国大陸の大きな市場と豊富な資源も日本経済の成長に不可欠と吉田は考えたのであろう。しかし、日本の独立という内容が含まれるサンフランシスコ条約をアメリカ上院が承認しないとの言葉をちらつかせたアメリカ政府の圧力によって、吉田はしぶしぶ台湾を選択した。

ところが、1960年代後半から軍事面・経済面における米国の圧倒的な優位性が弱まり、アメリカは重いお荷物となっていたベトナム戦争に終止符を打ち、ソ連との交渉を有利にするため、中国に急接近した。日本は米国の圧力によってしばらく中国大陸との往来を疎遠したが、アメリカの中国急接近によって呪縛から解放された日本は、田中角栄の首相就任をきっかけに、日中国交正常化を実現させたのである。



静岡産業大学 経営学部 教授
劉 志宏

News Letter

近年においても、このような傾向に変わりが無い。2014年中国が「一帯一路」という巨大経済圏構想を打ち出した。これは中国からユーラシア大陸を経由してヨーロッパへとつながる陸路と、中国沿岸部から東南アジアを経由してアラビア半島、アフリカに海路でつながる周辺地域において、インフラ整備や資金供給、貿易促進を行うという内容のものである。これは日本にとっても大きなビジネスチャンスになるので、日本政府は積極的に協力する姿勢を示したものの、アメリカ政府の意向を受けると、「一帯一路」に大きくかわかる中国の通信大手、中興通訊（ZTE）や華為技術（ファーウェイ）の企業活動を制限するようになった。

では、日米同盟を優先的に位置づける日本に対し、米国は日米同盟を踏まえて、どのように考えているのであろうか。

トランプ大統領の「アメリカ・ファースト」は有名な話であるが、周知のように、戦後アメリカは日米貿易摩擦など、日米間でたびたびトラブル発生時に、日米同盟よりもアメリカ自身の利益を優先してきた。前述のベトナム戦争終結のためのアメリカの中国急接近に関しても、ニクソン大統領が北京を訪問するという重大ニュースを同盟国である日本政府にしばらく秘密にしていた。それを日本の駐米大使に通告したのは、同大統領のテレビ演説で公表された当日、首相佐藤栄作の耳に入ったのは1時間前であった。この歴史に名が残るニクソン・ショックによる日本政府への衝撃は、容易に想像できるところである。

日本の内閣府の予測によると、2030年中国のGDPは26.3兆ドルに達し、アメリカの22.4兆ドルを上回り、世界経済の中心となる。今後日中貿易などが大幅に増え、日中間の経済関係はますます増大することが推測される。

日中間には尖閣諸島（中国名：釣魚島）の領有権問題が存在するが、東西冷戦の後遺症か、アメリカや日本においてこれを過大視する傾向が見られる。ただし、領土問題の武力解決は日本にとっても中国にとっても何らメリットがないことは明白である。

それよりも、日本は世界や東アジアの平和、日本の国益を考えて、日中関係をさらに改善し、覇権争いに走り、自国の利益を優先するアメリカに対し、場合によっては「ノー」と言えるように提言したい。

このエッセイは、日本経済新聞2020年5月12日朝刊「静岡発私の提言」欄掲載原稿に加筆修正したものである。

日中・日米貿易額



2022年度 静岡産業大学総合研究所 資格取得講座

皆様の資格取得やスキルアップを応援します！

開講会場 【藤枝】BiVi藤枝 【磐田】磐田キャンパス
【オンライン】 対面講義を同時配信

開講時間 18:30～20:30 120分 （夏季集中講義の電子会計3・2級講座を除く）
磐田キャンパス 宅建講座は 18:30～21:00 150分

【対面】

会場		資格名称	予定担当講師	予定開講期間	基本曜日	開講回数	申込締切	受講料(税込)
【藤枝】 BiVi 藤枝	1	宅地建物取引士講座	柏木 智子	4/ 5～10/14	火	44	締切りました	96,800
	2	国内旅行業務取扱管理者講座	石垣 美佳	6/ 1～ 8/31	水	14	締切りました	38,500
	3	FP2級講座	一杉 憲重	5/30～9/ 7	月	18	締切りました	56,400
	4	秘書検定2級(3級基礎含)講座	石垣 美佳	7/15～11/11	水	12	7/ 8(金)	33,000
	5	電子会計3級講座	久保田 和夫	7/23・24	土日	2日	7/15(金)	13,700
	6	電子会計2級講座	田部 秋平	7/23・24	土日	2日	7/15(金)	13,700
	7	色彩検定2級(3級基礎含)講座	塚本 由紀江	9/ 6～11/11	火	12	8/30(火)	33,000
	8	ITパスポート講座	中山 高伸	10/ 6～12/ 8	木	8	9/29(木)	22,000
	9	FP3級講座	柏木 智子	11/ 1～ 1/20	火	12	10/25(火)	36,300
【磐田】 磐田 キャンパス	1	宅地建物取引士講座	鈴木 高義	4/12～10/14	火	32	締切りました	88,000
	2	MOS Excel	中村 住子	9/26～12/ 5	月	10	9/20(火)	33,000
	3	MOS Word	森田 江美子	10/ 4～12/ 6	火	10	9/27(火)	33,000
	4	FP3級講座	山中 博巳	10/12～ 1/18	水	12	10/5(水)	36,300

【オンライン】

Zoom	1	国内旅行業務取扱管理者講座	石垣 美佳	6/ 1～ 8/31	水	14	締切りました	38,500
	2	秘書検定2級(3級基礎含)講座	石垣 美佳	7/15～11/11	水	12	7/ 8(金)	33,000

- ・受講料は税込、別途テキスト代が必要となります
- ・【オンライン】Zoomで視聴できる環境が必要です
- ・受講希望者が極めて少ない場合には開講しないこともあります

講座申込書

講座名			
ふりがな		TEL	
お名前			
ご住所	〒		
E-mail	@		
年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上 ☐ 産大生		
ご職業	☐ 会社員・団体職員 ☐ 会社経営・自営業 ☐ 公務員 ☐ 主婦 ☐ 学生 ☐ その他 []		
何で(どこで)知りましたか [複数回答可]	☐ 大学からのDM ☐ 大学HP ☐ BiVi藤枝 ☐ 市交流センター ☐ 市図書館 ☐ 商工会議所・商工会 ☐ 広報ふじえだ・むるぶ ☐ 広報いわた ☐ 知人紹介 ☐ 本学学内 ☐ その他 []		

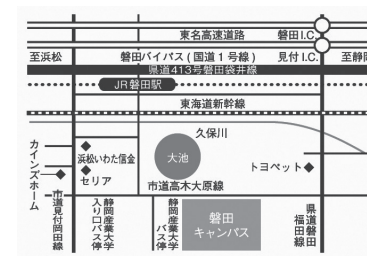
お申し込みは、それぞれ約1ヶ月前より受付しております。
受講希望者が極めて少ない場合には開講しないこともあります。

連絡先・問合せ先

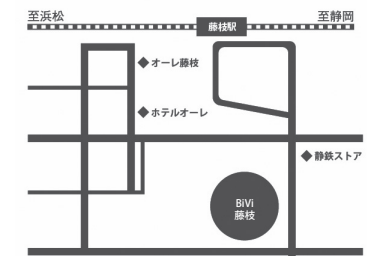
磐田キャンパス TEL 0538-36-8864 FAX 0538-36-8800 sird@ssu.ac.jp
BiVi藤枝 TEL 054-639-7164 FAX 054-645-7165 hikeda@ssu.ac.jp

会場案内図

【磐田キャンパス】



【BiVi藤枝】



静岡産業大学総合研究所

静岡県藤枝市駿河台4-1-1(静岡産業大学藤枝キャンパス内)
TEL.054-646-5435 FAX.054-645-1230

SSU総研ニュース

第14号